

経営比較分析表（令和4年度決算）

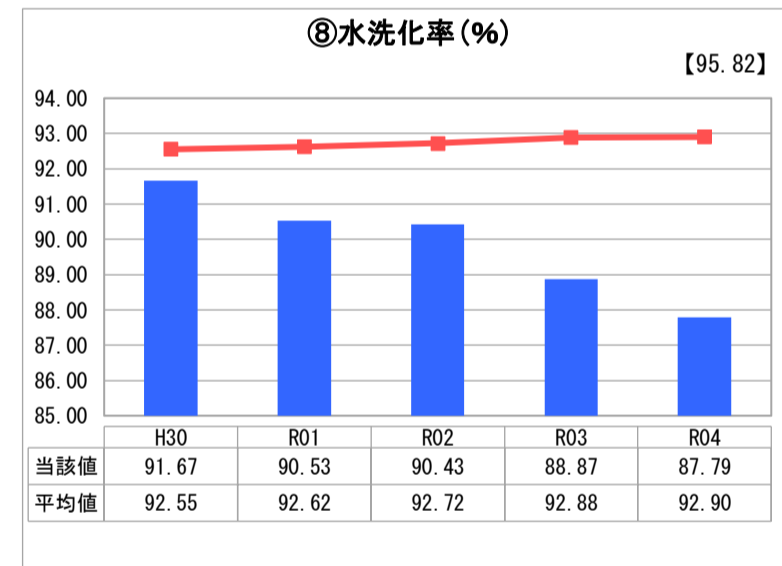
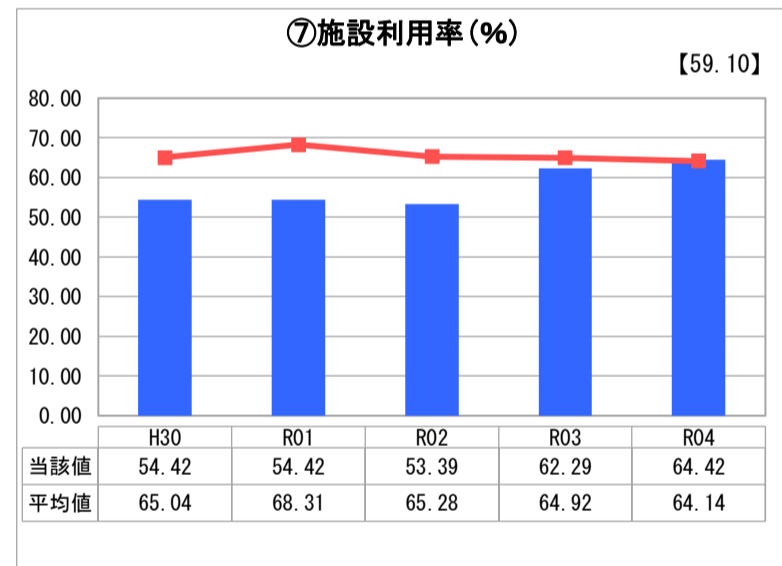
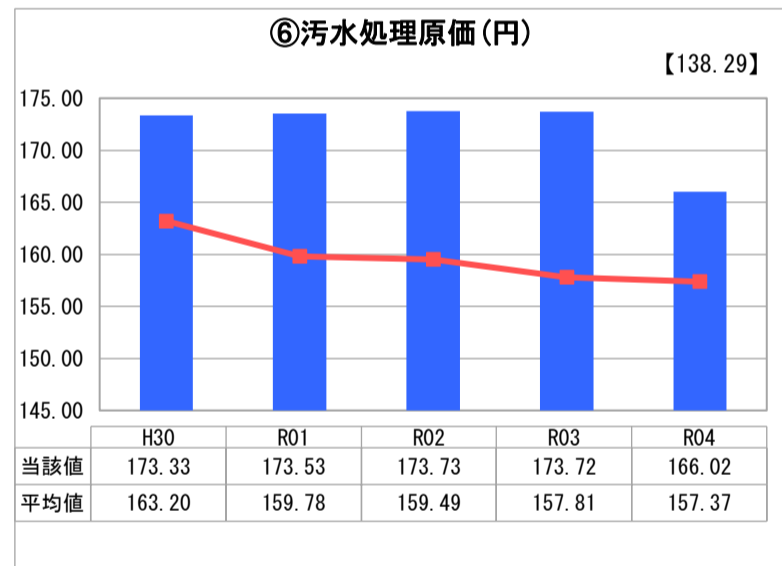
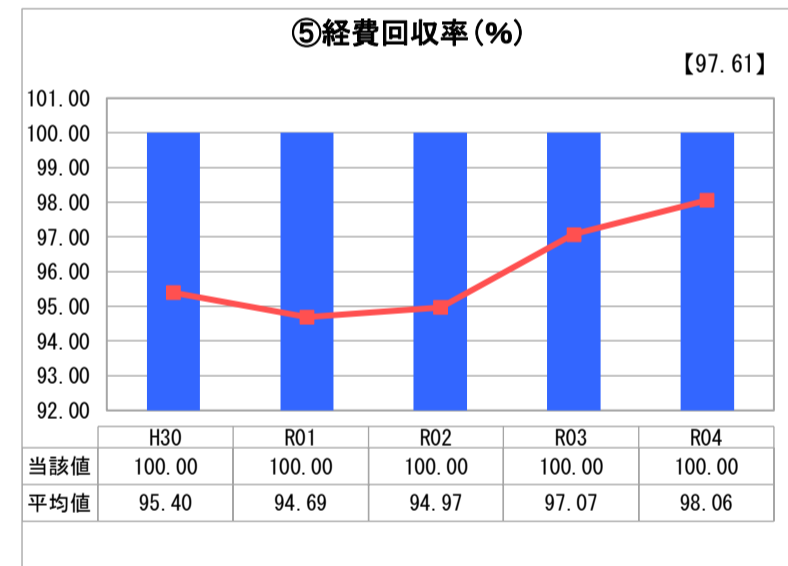
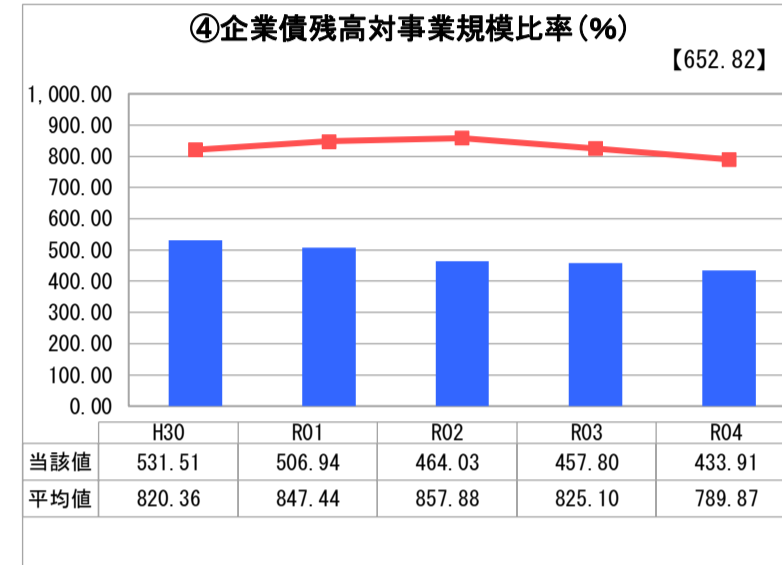
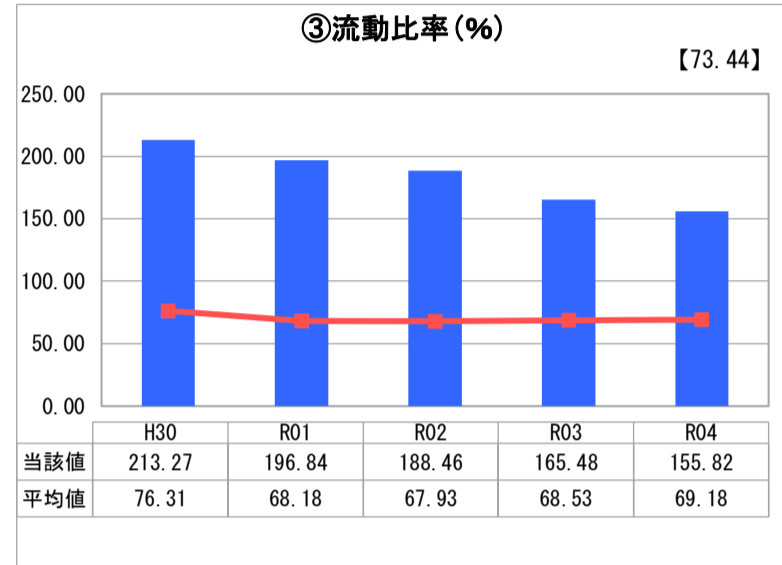
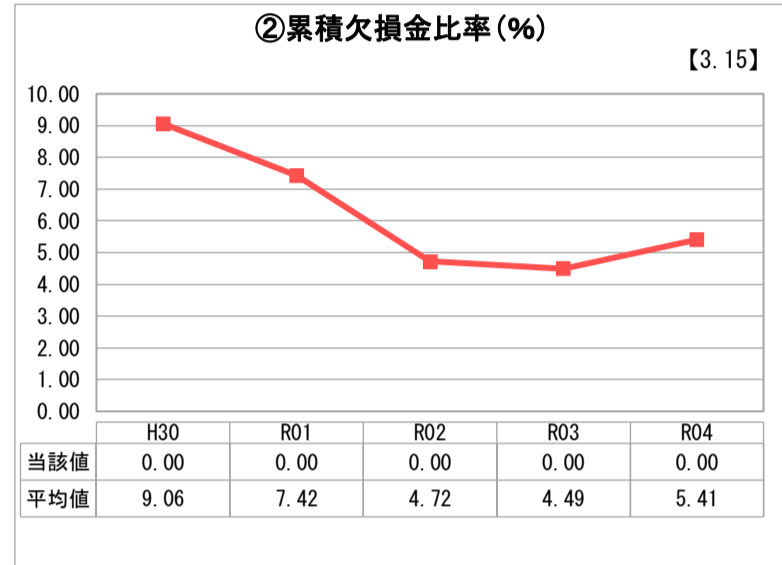
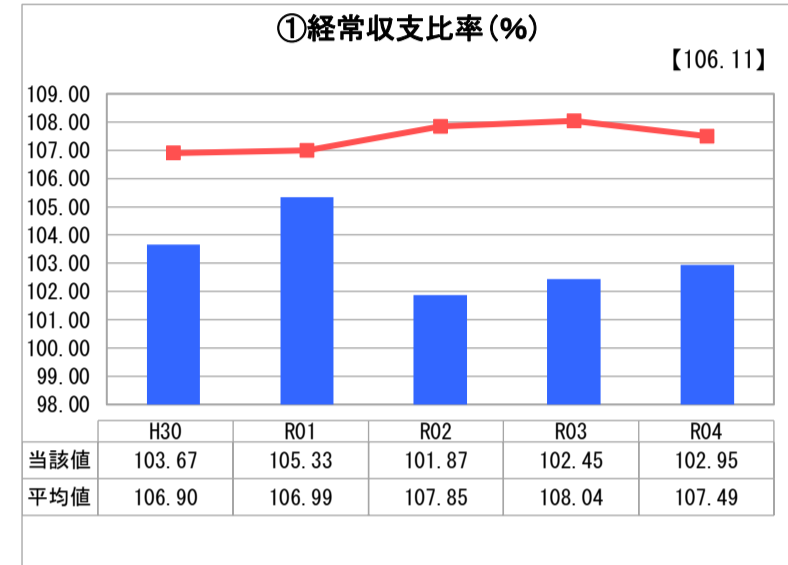
熊本県 玉名市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	63.88	55.61	76.87	3,610

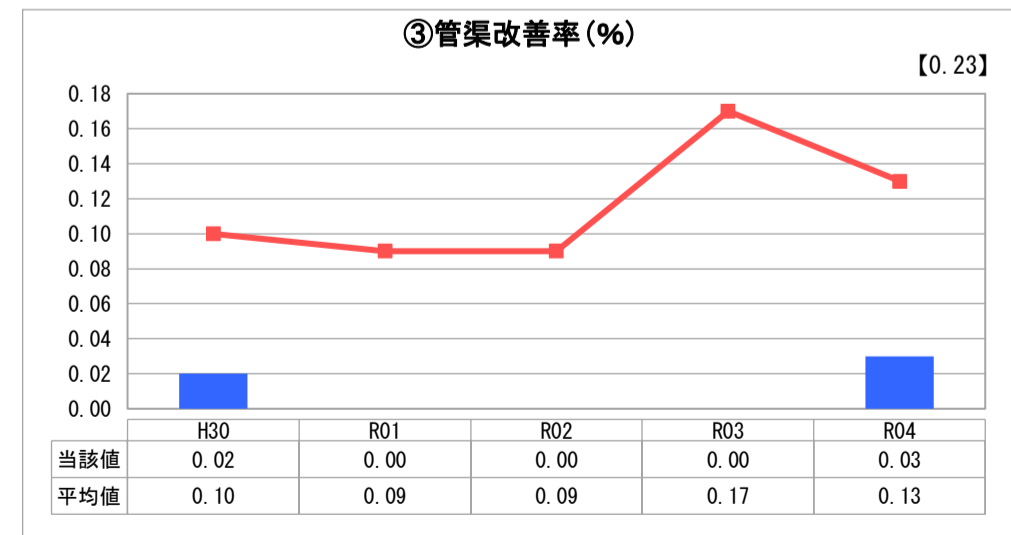
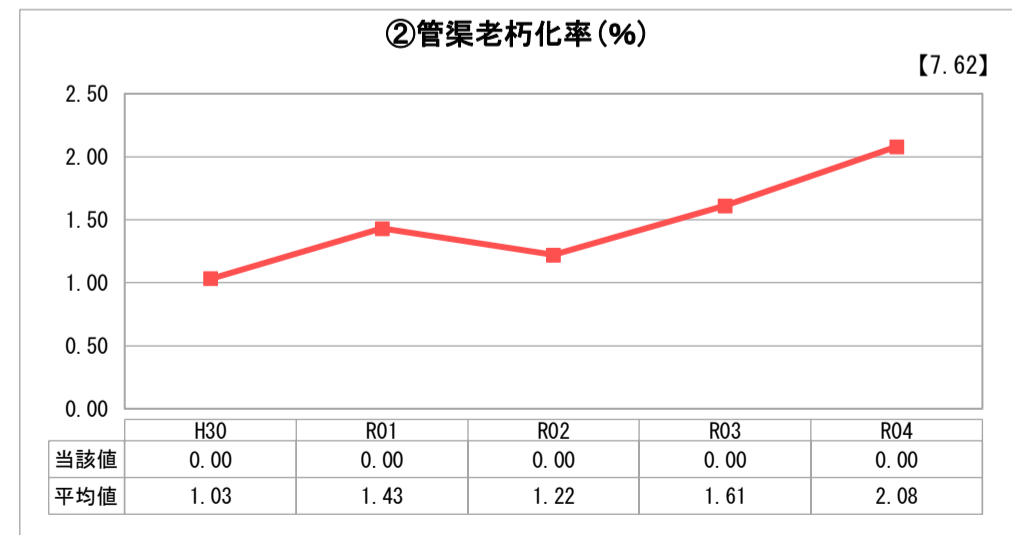
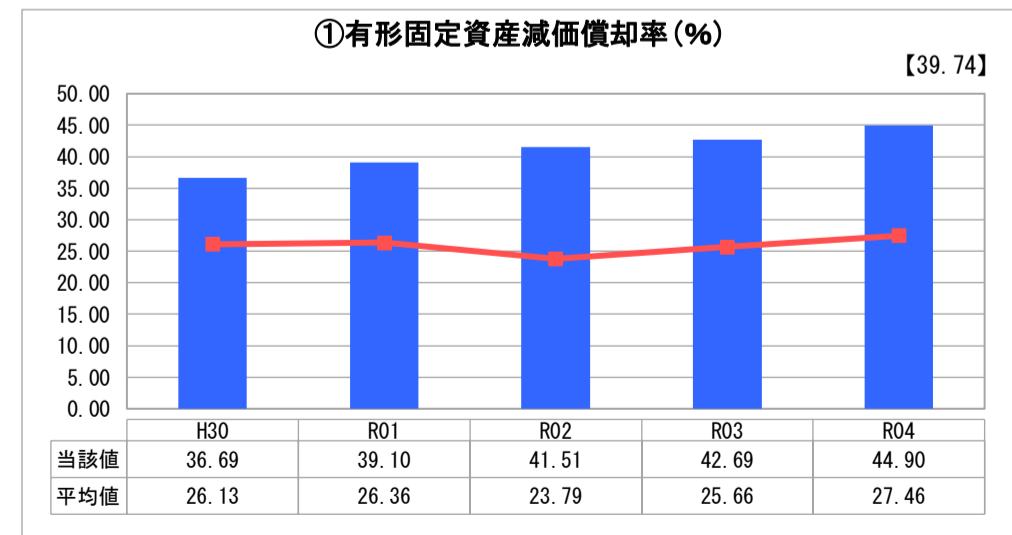
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
64,066	152.60	419.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
35,454	11.77	3,012.23

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率は100%を越えており、累積欠損金は生じていないことから、現状は健全な経営状態といえます。ただし、類似団体及び全国平均値より低く、また使用料収入も減少傾向にあることから今後厳しい経営状態が想定されます。
- ・流動比率は、全国平均及び類似団体平均値を大きく上回っており支払返済能力は確保されているが、毎年減少傾向にあるため、流動資産の値に注意する必要があります。
- ・企業債残高対事業規模比率は、全国平均及び類似団体平均値を下回って推移しているため、健全性は確保されていると考えています。今後も投資規模と料金水準のバランスに留意していきます。
- ・経費回収率は、近年100%を維持しており回収すべき経費については、使用料で賄えている状況です。今後も汚水処理原価を抑制するため、汚水処理経費の削減に努めるとともに使用料収入の確保に努めます。
- ・施設利用率は、全国平均及び類似団体平均値を上回っています。引き続き、未普及地域の解消と将来の汚水処理人口の減少等を踏まえ、処理場等の非効率性を検証していきます。
- ・水洗化率は、全国平均及び類似団体平均値を大きく下回り減少で推移しています。要因として人口減少が影響していると考えられ、今後も人口減少に伴い水洗化率が低下していくと思われるため、未接続世帯に対する接続勧奨を進め使用料収入の確保に努めます。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率は、全国平均及び類似団体平均値を上回っており、増加傾向にあります。老朽化が進む施設や設備を適切に維持管理しながら下水道の機能を確保していく必要があります。
- ・管渠老朽化率は、法定耐用年数を経過した管渠がないことから、管路の健全性は確保できていると考えます。
- ・管渠改善率については、対象となる老朽管渠が発生していませんが、今後、管渠カメラ調査の結果で改善箇所が発見された場合は、速やかに更新を行っていきます。

全体総括

・令和元年度にストックマネジメント計画を策定し、令和2年度には経営戦略の見直しを行い、計画に沿った事業運営を行っているところですが、今後は人口減少や節水型家電の普及に伴う使用料収入の減少、施設や設備の老朽化に伴う改築更新事業及び維持管理費の増加が予測され、経営を取り巻く環境は、より一層厳しくなるものになると考えられます。将来の安定経営に向け、使用料改定を視野に入れた経営改善に取り組んでいきたいと考えています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。